

# べっふ 市議会だより

2016.8.1  
No.130



(昨年のもつりの様子)

## CONTENTS

- P 2 地震に対する予算（災害復旧費・観光経済対策費）などを可決
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑（4 [B] i 地域産業イノベーション、被災者支援）
- P 5 常任委員会審査
- P 6 ~11 一般質問（14名が市政を問う）
- P12 表彰、市民と議会との対話集会（議会出前講座）、編集後記

# 地震に対する予算などを可決

## 復旧・復興への 議会の取り組み

4月16日午前1時25分に発生した本市観測史上最大の震度6弱の地震により、市内にも各所に被害が発生しました。被災されました市民の皆さまに心からお見舞い申し上げます。被災された他自治体や県内外の皆さまからの「厚情」とご支援に感謝申し上げます。

別府市議会においても地震発生当日より「市民に寄り添う議会活動」を継続していきながら、4月26日には全会派合同で下記内容の申し入れをするなど、別府市の復旧復興活動に協力してまいりました。

6月定例会では、市長から震災関連の補正予算などの議案が提案されましたが、審議の結果、震災関連議案につきましては、別府市の早急な復興を願ひ、全てが原案可決されました。

## 別府市議会から 別府市への申し入れ

1. 震災による主に観光産業等への影響は、本市にとつては、被災者支援とともに市民生活にも直結する最も重要な問題であることから、一日も早い復旧・復興が望まれます。そのため被災者を中心に可及的速やかな予算対応等が必要な場合については、市長専決処分（議会の議決を得ずに、市長が予算等を決められること）を含めて緊急的な財政対策を講じられることを、市議会として要望するとともに、支援をいたします。
2. 出来得る限りの被災者に対する必要な融資制度等の検討をお願いする。
3. 国、県に対し財政等の支援について積極的な要望活動をお願いする。

### 地震に関する補正予算（一般会計）

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

議第58号 補正予算第1号 災害復旧費 (5月13日専決) 2億2460万円	災害応急復旧費 …… 1億9960万円 道路橋りょうや学校施設、市営住宅などの復旧費
	災害対策費 …… 2500万円 災害対策本部や避難所の用品や備蓄物資などの補充、使用済み毛布のクリーニング手数料など
議第60号 補正予算第2号 観光経済対策費 (5月20日専決) 1億5520万円	官民共同誘客緊急事業（Go Beppu 事業） …… 1020万円 観光客の回復に向け、福岡都市圏において大規模な広告戦略・キャンペーンを実施する
	別府誘客緊急事業（元気な別府発信事業） …… 1500万円 別府の元気を訴えるCM を作成し、テレビやWEB で発信する
	べっぶで飲んで食うぼん券発行事業 …… 1億3000万円 客足が減少した飲食・料飲業に対する消費を喚起するため20%のプレミアム付きクーポン券を発行する
議第48号 補正予算第3号 1億8490万円	災害見舞金及び災害被災者住宅再建支援金 …… 6580万円
	文化財修復費 …… 254万円
	重要文化的景観（湯の花小屋）の復旧費 …… 1157万円 農林業施設等の復旧費 …… 1億498万円
議第66号 補正予算第4号 1億1280万円	損壊家屋解体に要する経費 …… 1億1280万円

## 6月定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第48号	平成28年度別府市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (賛成多数)	議第67号	別府市、別府速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(池部 光)	同意 (全会一致)
議第49号	平成28年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)	議第68号	別府市、別府速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(古田 茂義)	
議第50号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		議第69号	別府市、別府速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(田中 朋子)	
議第51号	別府市税条例等の一部改正について		議第70号	監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて(恵良 寧)	
議第52号	別府市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について		議員提出 議案第4号	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	原案可決 (全会一致)
議第53号	別府市指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について		議員提出 議案第5号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求める意見書	
議第54号	別府市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正について		議員提出 議案第6号	四国電力伊方原子力発電所の再稼働に際し、慎重な対応を求める意見書	原案可決 (賛成多数)
議第55号	別府市自転車競走実施条例の一部改正について		議員提出 議案第7号	伊方原発3号機の再稼働中止を求める意見書	否決 (賛成少数)
議第56号	別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		報告第3号	平成27年度別府市一般会計繰越明許費繰越計算書の提出について	報告
議第57号	動産の取得について 【消防 救助工作車】		報告第4号	平成27年度別府市国民健康保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書の提出について	
議第58号	市長専決処分について 【平成28年度別府市一般会計補正予算(第1号)】		報告第5号	平成27年度別府市競輪事業特別会計繰越明許費繰越計算書の提出について	
議第59号	市長専決処分について 【平成28年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)】		報告第6号	平成27年度別府市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の提出について	
議第60号	市長専決処分について 【平成28年度別府市一般会計補正予算(第2号)】		報告第7号	平成27年度別府市介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書の提出について	
議第61号	市長専決処分について 【平成28年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)】	報告第8号	平成27年度別府市水道事業会計予算繰越計算書の提出について		
議第62号	市長専決処分について 【別府市税条例等の一部を改正する条例】	報告第9号	一般財団法人別府市総合振興センターの経営状況説明書類の提出について		
議第63号	市長専決処分について 【別府市都市計画税条例の一部を改正する条例】	報告第10号	一般財団法人大分県東部勤労者福祉サービスセンターの経営状況説明書類の提出について		
議第64号	市長専決処分について 【別府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】	報告第11号	市長専決処分について		
議第65号	市長専決処分について 【訴え(控訴)の提起】	請願第1号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	不採択 (賛成少数)	
議第66号	平成28年度別府市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)	議員派遣の件	原案可決 (全会一致)	

### 賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																								
			自民・創生					新風べっぴん					公明党			市民クラブ		日本共産党議員団									
			江藤彦	三ヶ尻友	野口哲男	松川峰生	黒木愛一郎	国実久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	首藤正則	河野成	山本一三	松川章三	野上泰輔	森大正	小野明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重昭	平野文	竹内善浩
議第48号	平成28年度別府市一般会計補正予算(第3号)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第6号	四国電力伊方原子力発電所の再稼働に際し、慎重な対応を求める意見書	可決(多数)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出 議案第7号	伊方原発3号機の再稼働中止を求める意見書	否決(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
請願 第1号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	不採択(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	

※ 議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)  
 ※ 法律により、採決に加われない議案は「除」



# 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成28年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、6月10日に5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 4『B』i 地域産業イノベーション推進について

**問** 事業の概要は。

**答** 「地域価値と稼ぐ力の復興計画」ということで位置づけています。全国規模のネットワークを有する株式会社ビームスト、別府市でアートやデザインなどの力によって地域の課題解決に取り組んでいるNPO法人BEPPO PROJECTがコラボレーションして、両者ならではのクリエイティブな問題解決の方法、また従来とは異なる新規商品の開発や付加価値の向上、さらにはサービスの提供などを提案実践する場としてのプラットフォームを造成します。このプラットフォーム

を利用して多様な連携が図られることによって雇用の創出や「稼ぐ力」の増強を図ろうとするものです。

**問** プロジェクトの期間は概ね5年ということだが、1年間、もしくはこの5年間の期間においてどのような成果を出そうとしているか。

**答** 新たなものづくり支援による新製品サービス、新製品の商品化数が、29年3月までに5品目、32年3月までに20品目を想定しています。さらに、1年目、29年3月の新たなものづくり支援による新製品販売額については5000万円。32年3月については2億円を想定しています。

**問** 5年後に売り上げが2億、新しくできる商品が

20品目ということは、投資効果として適切だと考えているか。

**答** 有形・無形の価値観を生み出そうという試みであります。5年間で全て終わるわけではありません。50年先にしっかりとその形が残って、人材が輩出でき、しっかりと産業が生み出せて、当然定住人口も増えるといった有形・無形の全ての価値がそこに集約できるようなプラットフォームをつくっていきたくと考えています。

## 被災者支援について



**問** 今回の災害支援制度について、市発行のり災証明を出さなければ、色々な支援を受けられないということだが、市民への周知はどうなっているのか。

**答** り災証明につきまして

は、発災2日後から受けつけをしています。その後ケーブルテレビ等で放映をしてお知らせしていますが、6月の市報に色々な支援制度を掲載すると同時に、り災証明が必要ですとお知らせをしています。

**問** 被害認定の現地調査は誰が行っているのか。

**答** 建築士が必要となるので、民間業者の支援も仰ぎながら、建設部を中心とした建築士の資格を持つている職員などで現地調査を行っていきます。早急に証明書を発行できるよう関係課で協力しながら進めています。

**問** 別府市内の被災者が受けることができる支援の内容は。

**答** 災害見舞金、災害被災者住宅再建支援金、及び県の義援金の3種類です。り災証明が全壊、大規模半壊、半壊の方には3種類が支給されますが、一部損壊につきましては、住宅再建支援金は対象外となります。

また、一部損壊の割合が10%未満の場合は大分県の義援金のみ5万円。そして10%以上の場合、この5万円に別府市の災害見舞金の3万円を加えた8万円となります。

**問** 石垣や塀などの非住居部分の被害がかなり多いと確認している。別府市が独自に融資制度を設けてもいいのでは。

**答** 住宅の再建及び補修等については、既に独立行政法人(旧称 住宅金融公庫)に、り災証明をとられた方について低率の融資制度が既存の制度であります。そういった心配がある方は、まずは金融機関または行政のほうに相談をしていただきたいと思います。ほかにも紹介できる制度があるかも知れませんが、ぜひともそういった相談をお願いいたします。



# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成28年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

## 総務企画消防委員会

### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第3号）
- ・ 別府市税条例等の一部改正について
- ・ 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願

ほか9件

## 窓口業務改革

6月7日に総務省から「業務改革モデルプロジェクト」の業務委託団体として、別府市が全国7自治体のうちの1つに選ばれたことにより、「誰もが快適で賑わいのある窓口業務改革に要する経費」として委託料等を計上、業務フローの見直しをはじめ、総合窓口化やユニ

バーサルデザイン等の導入などに向けた調査研究を全額国費により行うとの説明が当局よりなされました。

委員より、窓口業務改革にあたっては、出張所のある方等を含めて研究を進めるべきとの意見がなされ、当局より、総合的に研究していくとの答弁がなされました。

さらに、委員より、民間施設での窓口設置に当たっては、駐車場やセキュリティ等、問題点をしっかりと洗い出した上で事業を実施してほしい、また、他の委員からは、現時点では具体的なイメージが見えない、正規職員もある程度関わっていかねければならないと感じる、モデル事業として選定されている以上、結果を出さなければならぬ、その先の本格的な実施も当然視野に入れなければならない、

調査研究の結果については、随時示してほしいとの要望がなされました。

## 観光建設水道委員会

### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第3号）
- ・ 別府市競輪事業特別会計補正予算
- ・ 別府市自転車競走実施条例の一部改正について
- ・ 市長専決処分について

ほか2件

## べっぴんで飲んで食つぽん券



緊急観光経済対策として、地震発生に伴い客足が減少している飲食店・料飲店で使用できるクーポン券を発行すること

等の説明が当局からなされました。

これに対し委員から、補助金のうち、3千万円の事務費について、さらなる削減が求められないか、

また、市民へは対象店舗を周知するための工夫が必要ではないかといった要望がなされました。

## 博多ジャックプロモーション

熊本地震の影響による観光関連産業の早期回復のための対策として、福岡都市圏において、大規模な広告戦略やキャラバンを形成するとの説明がなされました。

これに対し、委員からキャラバンの費用対効果を十分に検討するとともに、その選定については多角的に行ってもらいたい旨の要望が出されました。



博多ジャックプロモーションのイメージ図

## 厚生環境教育委員会

### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第3号）
- ・ 市長専決処分について

ほか6件

## 幼・小・中学校の空調整備

幼稚園・小学校の空調整備について、今回の熊本地震の影響の可能性を考慮に入れ、当初のスケジュール通りの完成を図るため、債務負担行為を設定し、契約のみ1年間前倒しするものであるとの説明が当局よりなされました。

委員からは、山の手小学校などはオープン教室の形態により、児童生徒に良好な学習環境を提供するというコンセプトで校舎が新築されたばかりであり、オープン教室の教育効果を損なわない整備を推進すること、また、空調整備することにより、他の教育施策に影響を及ぼさないように配慮することなどの要望がなされました。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。6月議会では14名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

## ●避難経路・避難所設備について

自民・創生

阿部 真一 議員



**問** 今回の地震を受けて生活道路ではない避難所周辺の幹線道路のLED化、また設置基数の少ない暗い箇所への新たな設置見直し改善計画が必要と思うが。

**答** 幹線道路に設置してあるナトリウム灯はLED照明になっていません。しかし、今回の地震を受け、再度計画を見直し、道路照明のLED化と避難所周辺の追加照明・LED化についても見直し、関係部署とも計画的に設置

していく方向で考えたいと思います。

**問** 現在、指定避難所でも目的・洋式トイレを設置しているのは、計17箇所と認識している。避難された方々からトイレの改善・多目的洋式トイレの設置の必要性の声を聞いた。教育委員会の答弁も必要性の認識を確認できたが、所管の危機管理課はどの様な考えを持っているのか。

**答** 近年、新築した体育館や施設には多目的トイレを設置しているが、他の施設等は設置できていない現状であり、今後、施設管理者とトイレの形態について協議していきたいと考えています。



## ●4・16 災害を乗り越えるために

公明党

市原 隆生 議員



**問** 今回の地震は今までに経験したことのない強い揺れだった。多くの住民が、程度の差は様々だが、家屋や塀などに被害を受けている。月々の収入でやりくりしながら、「持ち家」に住んでいるので普通に生活ができていた。このような方たちにとって、家屋が傷み、補修をしなければ、これから先安心して生活できないという方が多いと感じている。また、アパートの入居者についても、かなりの損傷があることから、家主が補修を断念し、経営をやめたいと告げられたことから、転居を迫られている方もいる。運よく引っ越し先が見つかり、費用についても前の家主が負担してくれたというケースもあったが、全てがこのようにいく

わけではないと思う。別府市としても経済的な立て直しも急がなければならないが、先ずは、市民一人一人が、安心・安全な日々の生活を取り戻すことが第一だと考える。また、今回の地震は一回戦であり、近い将来二回戦が、南海トラフを震源としてかなり激しくやってくるといわれている。以上のことを踏まえ、市民に寄り添った支援策をお願いしたい。

**答** いずれも災証明が必要となりますが、災害見舞金や、義捐金の支給のほか、住宅再建に向けた支援もあります。状況に応じた支援策を検討していきたいと考えています。



## ●震災被害支援と温泉発電について

日本共産党議員団

平野 文活 議員



**問** 今回の震災では自衛隊に出動を要請し、市長は自衛隊ヘリで視察したとのことだが、具体的に説明を。

**答** 自衛隊には炊き出しや被害調査にあたってもらいました。ヘリでの視察は市内全域や高速道路の被害状況、鶴見山のガケ崩れなどを見ました。

**問** 重大災害との認識でそこまですたと思うが、その後の対応では違和感をもつものもあった。避難者にペットボトルさえ配布しなかったことやせつかく協定を結んでいた福祉避難所を開設しなかったこと、由布市では千数百枚も配布したブルーシートを、別府市では配布しなかったこと、さらには災害救助法の適用



を申請しなかったことなどである。

**答** 今回は自主避難であり水や食料は自分で用意すべきと判断しました。ブルーシートについては個人財産を守るものであり、個人で調達すべきと判断しました。福祉避難所の開設や災害救助法の適用については要件を満たしていないと判断したからです。

**問** 小倉地区に進出している温泉発電業者で、新条例により住民説明会の開催義務があるのは何社か。

**答** 20社の進出企業のうち1社は新規申請であり、住民説明会を開かなければなりません、時期は未定です。

**問** 温泉発電について国に対してどんな情報の開示を求めたいか。

**答** 騒音防止法による公害防止計画などの情報開示を要望したい。

● 保育園について

公明党

穴井 宏二 議員



**問** 待機児童の増加が問題となっているが、別府市では待機児童は現在ゼロと聞いている。しかし、この問題については、国においても「子ども子育て支援新制度」において、待機児童解消のため、地域のニーズを踏まえて受入れ人数を増やすことを打ち出している。別府市の対応はどうか。

**答** 6月1日時点で自己都合による入所待ちの児童が73名います。保育ニーズは増加傾向にあり、「別府市子ども子育て支援事業計画」に基づき、既存の認可保育所の定員を拡大すること、基準を満たす認可外保育施設の認可保育所への移行に取り組んでいるところがあります。

**問** 希望する認可保育所に入所できないため、認可外保育施設などに入所している児童数の把握も含め、しつかり状況を把握していくことが大事ではないだろうか。居住地や勤務先に遠いなどの事由で希望の保育所ではなく、やむを得ず他の施設に預けているケースもよく聞く。そういう様々なニーズをつかんで一人ひとりにアフターフォローまでしつかり行う「保育コンシェルジュ」（保育の専門の相談員）の設置を要望したい。

**答** 国の施策では、「保育コンシェルジュ」の設置対象は待機児童が50人以上いる自治体等でありますが、様々なニーズに 대응することも大事だと思えますので、他市の動向も踏まえ、調査研究していきたいと思えます。



● 地震対策について

自民・創生

萩野 忠好 議員



**問** 自主避難と災害避難とはどう違うのか。

**答** 自主避難とは市が発表する避難情報や勧告・指示の発令前に住民自らが毛布や水などを持参し避難していく行動であり、災害による人的被害が発生する可能性がある場合は避難勧告などを発令し、対象地域の住民に避難していただくこととなります。

**問** 福祉避難所は設置したのか。また、看板はあるのか。

**答** 今回、小中学校を中心に避難所を設置しましたが、福祉避難所は設置しませんでした。看板もありません。

**問** 福祉避難所は障がい者

や高齢者が主に利用するので、安心できるように看板を見やすいところに設置することが必要だ。災害が起こるとパニックになり、一般の避難所と福祉避難所をはっきり区別することは難しいと思うが、お互いの理解が大事だ。他市においても福祉避難所を設置してないところも多かったが、新聞に「知的障がい者の親は大きな声を出して動き回る可能性が高く他人に迷惑をかける」と思い、車中で一夜を明かした。「今回は一泊だけでよかったが避難が続けば福祉避難所も知らず、自分で世話をすることは難しかった。」などの福祉避難所の問題点が掲載されていた。また、今回は初めての大きな地震であり、避難所の鍵、毛布、水、洋式トイレの少なさ、ペットの問題など多くの問題点があったが、市の反省点の主なものは。

**答** 議員が言われたことや多くの問題点について、今後、対応を検討してまいります。

●別府市の「人口トレンド分析」とは



公明党  
荒金 卓雄 議員

**問** 4月公表の「地域経済分析システム」活用の全国19の先進事例に別府市の「人口トレンド分析」と「稼げる産業分析」が選定された。どのような内容か。

**答** 「人口トレンド分析」では、大学入学前の社会増、卒業後の社会減など、若者人口の減少、流出がデータの上でも客観的に認識できました。そして新たに、40歳〜59歳の年齢層で転入者の増加が確認できました。さらに、「稼げる産業分析」では、観光関連のサービス産業に次いで、近年では医療・福祉分野が別府の稼ぐ産業であることが認識できました。

**問** 分析結果から、今後の具体的な政策にどう反映

するのか。

**答** 人口増減の傾向と産業構造の変化による分析結果から、温泉と医療・介護を連携した「現代版湯治」的な長期滞在型観光。また、定住人口の増加へ繋げる「別府版CCRC」の必要性が確認できました。

**問** 「避難行動要支援者名簿」とはどのような名簿か。

**答** 東日本大震災の教訓から、災害対策基本法が改正され、災害時に自力で避難することが困難で、介助が必要と思われる該当者の名簿で、市町村が作成します。

**問** 名簿の事前提供の同意調査の目的と今後の計画は。

**答** 平常時から避難支援関係者などに名簿情報を提供することに、本人の同意を確認するものです。7月〜10月で民生委員が訪問し、今後の個別支援計画の策定に係る情報収集を行う予定です。

●ドローンについて



新風べっぶ  
松川 章三 議員

**問** 昨年4月、官邸屋上でドローンが発見され、大騒ぎになった。その後、各自治体では、観光地など人が集まる所での利用は落下の危険やプライバシーの問題から規制する動きが強まっている。各部長のドローンについての見解を聞きたい。

**答** (企画部長) 必要性について考えていきたい。(建設部長) 災害現場など、人が近づけない箇所の調査業務などで活用できると考えています。



(ONSENツーリズム部長) 観光関係でコマージュアルフィルム等作成する場合には、別府市の景観等、PRすることが出来ると思っております。

(ONSENツーリズム部 参事) 中山間地域で、地形が急峻なところの現地調査などで、活用できると考えています。

(消防長) 小型カメラを搭載することにより、上空から情報収集が出来る有効な機器であると考えられています。

**問** 各部長は、利用価値のあるものと考えているようにある。私が視察に行った静岡県焼津市はドローン3機を保有し、災害時に活用しようとして訓練している。他自治体でも火山監視や遭難者の救助活動、森林調査、農作物の鳥獣被害調査等々活用している。市長は、人間の安全が確保でき、飛躍的に調査能力の上がるドローンを導入するつもりはないか。

**答** (市長) ドローンについては、観光面や危機管理の場面において有効であると考えています。今後、

関係部署と相談して前向きに検討したい。

●合理的配慮でユニバーサルな対応を



日本共産党議員団  
竹内 善浩 議員

**問** 今回の地震の初動対応等、今後の別府市からの報告書を見て考えたい。それを踏まえ、福祉避難所での合理的配慮は今回どうだったか。

**答** 福祉避難所として協定を結んでいる9施設では、地域住民の方も受け入れ、一次避難所としても機能しました。

**問** 避難所と福祉避難所の中間的な避難所が必要と考えるがいかがか。

**答** 今後、自主防災会のご意見を伺いながら、検討していきます。また、一次避難所のゾーニングや個室



対応、トイレや手すりの整備といったことも含め、検討・改善を進めていきます。

**問** 避難所でのマイノリティ（少数派）、ペットや盲導犬などの同伴者、メンタルケア要者や障がい者などの避難状況はいかがか。

**答** ペット同伴者には、今回はテントなどで対応しました。また、避難所は不衛生になりやすく、健康状態を損ないやすい環境となるので、避難者と管理する側との協力が重要となります。今後、自主防災会や民間の方などへのアンケートを通して、検討していきたいと思えます。

**問** 別府市の介護力、地域との協働事業の考え方を伺いたい。

**答** 訪問・通所の介護力は従業員数でみる限り十分です。従業者のご苦勞には、当事者の感謝の気持ちが一番です。共同温泉の入浴は温泉利用者や管理者の理解が不可欠であり、日常の交流事業など地域との協働の推進が大切と考えます。

●別府の南蛮文化と大友宗麟

新風べっぴん

首藤 正 議員



**問** 大分市など県内7市町が南蛮文化交流協定協議会を設立し、観光PR・南蛮文化関連イベントを実施しているが、別府市はなぜ加入していないのか。

■大友宗麟 像



**答** 大分市を中心とした6市1町はキリシタン南蛮文化交流協会を設立し、観光振興と最終的には日本遺産の設立を目指しています。別府市にはキリシタン南蛮文化が少なく、当初は声がかからなかったが、現在大分市から別府市にもキリシタン遺跡や大友宗麟に関する史跡があるので参加して欲しいと誘いが来ており、検討中であります。

**問** 南蛮文化に関係深い大友宗麟と別府市との関連は。

**答** 大友氏の始祖である大友能直は豊後守護に補任した際、浜脇に上陸しており、最後の当主 大友義統も石垣原合戦の際、浜脇に着船しており、大友氏の歴史は浜脇で始まり浜脇で終わっています。大友宗麟は「二階崩れの変」の時は浜脇で湯治していたとの史料が残っています。浜脇温泉を好んでいた宗麟はたびたび船で浜脇を訪れ、現在の浜脇中学校の場所に建てた大友浜脇館から浜脇温泉に入湯していたと伝えられています。

**問** この大友宗麟の浜脇での歴史を教育や観光に活かすべきではないか。

**答** (教育長) 新たな別府の歴史として興味深い内容であり、別府の歴史文化として別府学に取り入れたい。(市長) 歴史を掘り起こし、磨き語り継ぐことは絶対やらないといけないし、教育や観光などに活かせる素晴らしい資源だと思います。

●危機管理専門職員の採用について

自民・創生

松川 峰生 議員



**問** 地震や災害時に市民皆様の生命・財産を守るために、危機管理専門職員(自衛隊OB)の採用を至急検討すべきではないかと思う。全国で危機管理専門職員として採用されている自衛隊OBは、この10年間で4・8倍増えているが、別府市の採用に

ついでの考えを伺いたい。

**答** 防災に関する計画、マニュアルの整備や防災訓練の企画、実施など防災対策を進めるために、専門的な知識、能力、経験を必要とすることが求められるため、そのような能力を備えた自衛隊OBを危機管理部門に配置することは、防災や発災時の対応、復旧、復興にあたっては有効な人材になると考えます。



**問** 県内でも大分県2名、杵築市1名、佐伯市1名が採用されている。大分市においても今年度中の採用予定があると聞いています。今後各市町村においても自衛隊OBの採用が検討されていくのではないかと、別府市としてはどのように考えるか。

**答** 県内の危機管理専門員の採用状況について承知しておりますが、その雇用や勤務形態等を見ますと任期付職員の常勤又は嘱託職員の非常勤となっております。今後、専門的な知識・経験を有する自衛隊OBの採用については、様々な要件を勘案しながら決定したいと考えています。

●ラグビーW杯  
キャンプ地誘致について

自民・創生

黒木愛一郎 議員



**問** 本市は日本開催のラグビーW杯出場チームのキャンプ地誘致に名乗りを上げたが、応募要件、施設の基準、施設の整備方針、誘致成功時の経済効果などについて伺いたい。

**答** 応募資格は、チームが最高のコンディションで大会に臨むことができるように支援の条件を満たす



市ラグビー大使が施設を視察

自治体で、練習グラウンド、屋内練習場、トレーニングジム、屋内プール、チーム合宿ホテルの5施設が必要です。練習グラウンドについては天然芝のグラウンドとスクラム練習スペース、医務室、シャワールーム等々細かく設定された基準を満たす必要があります。

**問** 実相寺サッカー場で条件は満たすのか。

**答** 管理棟は満たすと思われませんが、多目的グラウンドの整備が必要と思われれます。

**問** 経済効果は。

**答** 試算は行われていませんが、開催地として県が80億円と試算しています。

また、本市には海外からも多くの観戦客が訪れ、キャンプ地として成功した実績で、その後の施設利用の向上が見込まれます。

スポーツ観光推進のため、W杯のためだけでなく、その後の有効利用が重要だ。また、誘致成功の折には、市民上げておもてなしをしなくてはならない。この大会で成功の一助を担うためにも、APUの学生さんにも手伝いを願ひ、市民が関心を持って取り組むことを切望する。

●指定管理について

自民・創生

安部一郎 議員



**問** それぞれの担当者が経営するという視点で業務に取り組んでいただきたいと思う。先日夜8時頃、電話で別府市公会堂の利用申し込みをしたところ、

担当者がいないのでわからないと言われた。わからない理由は何か。このたった9部屋の管理運営がたった一人の人間しかできない理由は何か。

**答** 議員ご指摘のとおり、事前に業務ができるようにすることは当然です。17時から22時まで1人ないしは2人の夜間管理人がいますが、現在の夜間管理人はオープン当初から夜間受付業務を習得しています。ただし、大ホールに関しては、事前の仕込みの調整などのため追って担当者から連絡することもあります。夜間受付も重要な業務のひとつですので、今後也十分な指導を行い、対応の徹底を図ります。

**問** 大ホールが使用されているときは他の会議室等が使用できないと言われた。その理由は駐車場の問題と言われた。このことをどう思うか。

**答** 駐車場を理由として使用をお断りすることはできないものと考えています。大ホールの場合は、公共

交通機関の利用と駐車場整理係の配置をお願いしています。公民館、市民会館の管理運営に支障がないように十分使用者にも説明を行っていきたいと思います。

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。

請願・陳情とは国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要となります。詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。どうか、議会事務局までお問合せください。

別府市議会事務局 TEL 21-1547

次回の定例会は

9月5日(月)から  
9月21日(水)まで  
を予定しております。

※日程は変更することがあります。  
第3回定例会の請願・陳情の受理期限は  
8月25日(木)17時までです。



●春木苑更新事業について

新風べっぴん

野上 泰生 議員



**問** し尿処理場・春木苑の更新事業が平成31年春の完成を目指して進んでいる。これまでの地域住民に対する悪臭や交通への対策は。

**答** 現施設の諸課題については、住民説明会や検討委員会での整理され、工事発注の仕様にしています。具体的には、周辺住宅地との距離を確保し、バキューム車の出入り口や建物内の臭気対策、新規の道路整備による動線の分離などによる安全対策をしています。

**問** 地元工事業者への発注比率を高める事が大事だが、工夫はしているのか。

**答** 業者からの提案書における地元企業への発注努力を評価する部分の項目

を設定し、地元事業者に対する具体的な発注内容を評価することとしました。そのことにより地元への発注比率が高まるものと考えています。

**問** 春木苑は地元自治会のお祭り等の会場としても活用されている。工事中は会場が使えなくなるなどの迷惑をかけるが、地元には十分な配慮をお願いしたい。

**答** 本工事では、地域の皆様にご迷惑をおかけします。地元と十分議論し、意見を聞きながら、地域行事に支障がないよう取り組んでまいります。



し尿処理場 春木苑

●別府学について

市民クラブ

加藤 信康 議員



**問** 今年度当初予算で予定されていたが、地方創生加速化交付金制度の対象事業としての可能性があるというところで、3月の補正予算に盛り込まれたが申請の条件である別府市総合総合計画に沿ったものであることとなつている。別府学について、どういふものか説明したい。

**答** 別府の歴史や温泉、観光や伝統文化、先人の功績など別府のすばらしさを小中学生をはじめとする子供たちに伝え、郷土を愛する心、自らまちづくりを担う心をはぐくむことを目的とし、その学習手段として教本（テキスト）とDVDを作成します。

**問** テキストやDVDなどの教材を作るだけでは継続しない。人が活動するシステムが必要だが、どういう形で進めていくのか。

**答** 今年度から別府学特別部会を立ち上げ、教育課程に別府学を組み入れることを計画しています。具体的には今実施している学習内容の修正、地域の方を活用した講義、作成した教材を活用した学習、現地学習など広い意味での別府学を考えています。

**問** 現在の進捗状況はどうか。

**答** 編集委員には学識経験者、学校教育関係者のほか、広く意見を聞くために様々な分野の方をお願いしたいと考えています。現在、内容などの見直しを行っており、来年3月完成を目指しています。

**問** 別府観光の父とも言われる油屋熊八について、これまで熊八大学の取り組みの中で子供たちに教えてきたが、今年度から事業予算はなくなった。別府学

ではどうするのか。

**答** 油屋熊八は別府の近代観光史を語る上で欠くことの出来ない重要な人物です。別府学の重要な要素として盛り込みたいと思います。

虚礼廃止にご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っております。別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることにしていきます。

政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ること、お祭りへの寄附をすることは、法律で禁止されています。また、有権者の皆様が、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。



## 永年勤続市政振興功労者表彰

第92回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により特別表彰を受賞された議員に対し、6月定例会最終日の議事終了後、表彰状の伝達式を執り行いました。

- 永年勤続30年 **河野** かわの **数則** かずのり 議員
- 永年勤続25年 **山本** やまもと **一成** かずなり 議員



左から森山副議長、長野市長、河野議員、山本議員、堀本議長



左から井野上議長、江藤副議長、堀本議長

### 佐伯市議会から義援金

6月27日に佐伯市議会 井野上準議長、江藤 茂副議長が来別され、震災への義援金をいただきました。温かいご支援に、心から御礼申しあげます。



### 市民と議会との対話集会 (議会出前講座)

今年度の「市民と議会との対話集会」は下記の学校において中学生を対象に出前講座として行います。

#### 実施中学校

- ・ 北部中学校
- ・ 朝日中学校
- ・ 山の手中学校



### 編集後記

市民の皆様におかれましては、日頃より市議会活動に深いご理解を賜り心から感謝申し上げます。二元代表のもと議会と執行部は車の両輪と言われます。別府市が力強く前進していくためには、その両輪を担う議会と執行部は互いの権能に敬意を払いながら、緊張感を保持して対置していなければなりません。人口減少・少子高齢社会へと進む中、別府市も様々な課題を抱えておりますが、少しずつでも前に進めていかなければなりません。そのために市議会の役割はますます大きくなっていきます。市民との対話を基調とする市議会が執行部と真摯に向き合う姿を紙面にてお伝えできればと思います。また、今年から選挙権が18歳以上に引き下げられ、中学生にも議会の仕組みを理解してもらうことを目的に、今年度は「市民と議会との対話集会を「中学校出前講座」として執り行うことといたしました。内容につきましては後刻お知らせ申し上げます。

今後も「市議会だより」が市政と市民の皆様をつなぐ架け橋になれるよう内容の充実に向け努力してまいりますので、どうぞ変わらぬご愛読をよろしくお願い申し上げます。とともに、ご自愛いただき、毎日を健康に過ごされますようお願い申し上げます。

広報広聴委員会委員

小野正明